

2016年1月25日

株式会社タカギ

福岡県北九州市小倉南区石田南 2-4-1

<http://www.takagi.co.jp/>

## ベトナム・ハイフォン市における 合資会社設立・事業開始のお知らせ

世界の水環境整備へ向けて、北九州市／ハイフォン市などと共同事業を開始

株式会社タカギ（本社：福岡県北九州市、代表取締役社長：高城寿雄、以下タカギ）は、北九州市と姉妹都市であるベトナム・ハイフォン市との「日越合資会社の設立に向けた意向確認書」の締結合意に基づき、2014年10月から北九州市上下水道局の支援の下、事務局として本プロジェクトへ参画し、企業団の先頭に立って合資会社設立に向けた企画、調整活動を行ってきました。

去る2016年1月6日、ハイフォン市における上水道の整備・普及を行う事業会社が正式に設立に至りましたのでお知らせいたします。その後、予定通り7企業・団体からの出資が完了し、2016年1月25日に社員総会にて正式に事業計画が承認され、本格的に事業を開始することとなりました。

新会社には、7つの事業者が出資・事業参画を行い、タカギは出資額の51%にあたる51万USドルの出資を行いました。また、タカギベトナム（グループ初の海外生産拠点としてハノイ市郊外に2008年11月設立、従業員：276名、2014年度売上：28.2億円）の実績と経験を生かし、新会社の社長を当社より選出しました。ハイフォン市を起点にベトナムにおける安全な水環境の普及のため、今後は7事業者の協力体制のもと、北九州市が所有する大型浄水場前処理装置「U-BCF」（特許第3831055号）をハイフォン市の主力浄水場へ整備すると共に、タカギが日本国内で高いシェア（新築分譲マンション採用率70%、継続利用顧客数100万件以上）を誇る「蛇口一体型浄水器」を中心とした浄水システムの販売を進めてまいります。

### 合資会社の概要

会社名 : JAPAN ADVANCED WATER TECHNOLOGY VIETNAM CO., LTD. (略称 JWT)

会社形態 : 2人 有限会社

社長 : 久保 忠志

所在地 : ハイフォン市

事業内容 : ①U-BCF（大型浄水場前処理装置）の販売  
②蛇口一体型浄水器のレンタル、販売、カートリッジ販売  
③セントラル浄水機の販売、施工、メンテナンス  
④水道資機材輸入代理業

従業員数 : 5名（日本人2名、ベトナム人3名）

設立日 : 2016年1月6日

取引先 : ハイフォン市水道公社、現地ディベロッパー、個人（エンドユーザー）

出資総額 : 100万 USドル ※各出資者の出資比率、出資額は下表参照

出資者	出資比率	出資額(単位：万 US ドル)
株式会社タカギ	51%	51
ハイフォン市水道公社	25%	25
若築建設株式会社	14%	14
北九州上下水道協会	4%	4
北九州管工事協同組合	2%	2
株式会社松尾設計	2%	2
株式会社ユニ・エレクトクス	2%	2
合計	100%	100

## 合併会社設立の背景および趣旨

ベトナムは今後、中所得層以上の人口が増加し、2020年にミドルアッパー（15,000～35,000USドル）以上の所得層が1,500万人を超える（\*1）ことが予測されています。所得の増加に伴い、普及が進むテレビ、冷蔵庫、エアコンなどの家電製品と同様に、浄水器の需要拡大が考えられることから、

- 1、北九州市・ハイフォン市の両自治体の支援で事業拡大を加速できること
- 2、ハイフォン市水道公社のネットワークを活かし、販売やメンテナンス・代金回収などの仕組みを迅速に構築できること

3、ハイフォン市で構築したビジネスモデルをベトナム全土に広げられる可能性があることなどのメリットを考慮し、当社としては合資会社設立へ筆頭株主として投資を行い、事業拡大を目指すことを決定しました。まずは、ハイフォン市で浄水器事業のモデルケースを作り、大型浄水場前処理装置「U-BCF」と共に水環境に対する“快適性”や“こだわり”などの付加価値ニーズにも応える「安全で美味しい水」の提供を進めていく予定です。

（\*1）出典「中間層を核に拡大するASEAN消費市場 みずほ総合研究所 2010」より

## 新会社のロゴとその意味

新会社は日本から6つの企業・団体、ベトナムから1社の出資を受けて設立されました。

新会社のロゴにおける右側の6本の線は日本の企業・団体、真ん中の線がハイフォン市水道公社、左側の線が流れる浄水を表しています。右側の6本の線は、Japanの「J」を模しており、ハイフォン市水道公社が日本の技術を結び、ベトナムで日本の技術による浄水を供給して行くことを意味しています



## ベトナム・ハイフォン市の水事情

世界約 200 の国と地域で、水道水が飲める国は、わずか 13 カ国 (\*2) しかありません。急激な人口増加が続く東南アジア諸国連合地域は、国連の人口予測では 2030 年には 7 億人、2050 年には 7 億 7 千万人ともいわれ、安定的な水資源の確保が急務です。しかし現状は、上下水道の不備などから、家庭に届くまでにヒ素などの重金属や一般細菌などの発生が深刻な問題となっています。急速な都市化と経済成長著しいベトナム北部最大の港湾都市・ハイフォン市は、河川の水質悪化で水道事業における大きな技術課題がクローズアップされ、行政は対策に苦慮してきた背景があります。

(\*2) 出典「国土交通省 2009 年調査資料」より

## 日本からアジア、そして世界へ。タカギ『ハイブリッド浄水システム』の仕組み

本プロジェクトで、タカギは「セントラル浄水機」と「蛇口一体型浄水器」の 2 つの浄水技術による『ハイブリッド浄水システム』を初めて本格導入します。

北九州市が所有する「U-BCF」が浄水場に設置されることで、水道水が飲める地域は「蛇口一体型浄水器」のみを販売。一方、「U-BCF」が未設置で、水道水に有害物質が含まれるため飲用として適さない地域は、『ハイブリッド浄水システム』を導入します。地域ごとに異なる水事情に適合した水処理の実現により、コストを最適化した「安全で美味しい水」の提供が可能となります。

タカギの『ハイブリッド浄水システム』は、ビルトインの「セントラル浄水機」が、1 次浄水として、建物全体に安全な水を提供。沈殿／ろ過／塩素注入という 3 段階の浄水処理を行う日本の浄水場の仕組みを応用しており、「造核剤の活用による不純物除去」などの新たな水処理技術を搭載し、低コストかつ効率的に人体に有害な物質等を除去します。日本で普及している「蛇口一体型浄水器」は、2 次浄水として、活性炭カートリッジで塩素を除去、ミネラル分そのままのおいしい水を精製し各戸に提供します。これによって、ペットボトルの水しか飲めなかった地域でも、日本基準の安全な水を各家庭に供給することが可能となります。

建物ごとに設置できるこのシステムは、現地の環境を活かした暮らしを提案できます。インフラが未整備な新興国でも安全な飲料水を提供でき、設置した建物ではキッチンだけでなく、浴室や洗面、洗濯でも快適で安心な暮らしを実現可能にします。集合住宅 200 戸分まで対応可能で、病院やコンドミニウム、サービスアパートメントなど、水質に価値を求める大型施設の設置が特に有効です。

現在、ハノイ市中心地にある日本企業（「やずや」グループ）の複合ビルでハイブリッド浄水システムの実証実験を行っており、大手企業を中心に 30 社以上のオフィスエリアと 46 室のサービスアパートで安全な水の供給を行い、居住者から好評を得ています。

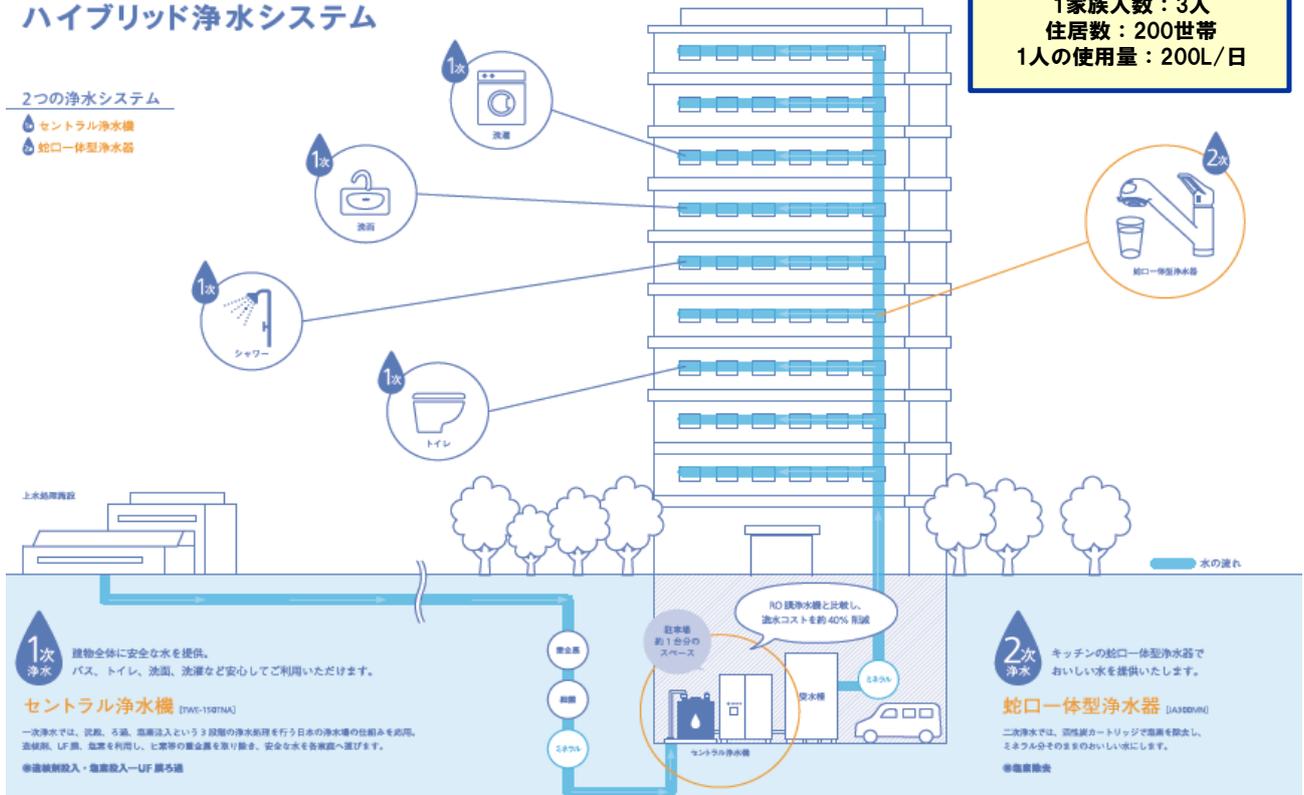
※次ページ図表を参照

「安全」と「おいしい」を1つに

## ハイブリッド浄水システム

### 2つの浄水システム

- 1 セントラル浄水機
- 2 蛇口一体型浄水器



**1次浄水** 建物全体に安全な水を提供。バス、トイレ、洗面、洗濯など安心してご利用いただけます。

#### セントラル浄水機 [PAT-150TMA]

一次浄水では、沈殿、ろ過、塩素注入という3段階の浄水処理を行う日本の浄水場の仕組みを再現。逆浸透、UF膜、塩素を利用し、70種類の重金属を取り除き、安全な水を各家庭へ運びます。

※逆浸透膜投入・塩素投入-UF膜ろ過

**2次浄水** キッチンで蛇口一体型浄水器でおいしい水を提供いたします。

#### 蛇口一体型浄水器 [A3300RNG]

二次浄水では、活性炭カートリッジで塩素を除去し、ミネラルそのままのおいしい水にします。

※逆浸透膜式

### 【1次浄水】 セントラル浄水機

スペースは駐車場約1台分。造水コスト約40%削減（RO膜浄水機と比較）。リモートコントロールによる遠隔操作で24時間装置管理が可能。  
\*2013年、第5回ものづくり日本大賞受賞（製造・技術開発部門／経済産業大臣特別賞）



### 【2次浄水】 蛇口一体型浄水器

活性炭カートリッジで、飲む直前に塩素を取り除き、ミネラルそのままの安心でおいしい水をつくれます。手で簡単にカートリッジの交換が可能。

#### 浄水器部の機能

4段切替構造

マイクロフィルタ

ゴミを除去します。

殺菌セラミック

カートリッジ内の層間の隙間に殺菌剤を投入します。毎日使用される場合、捨て水は不要です。※2日間以上使用しなかった場合は20秒以上浄水を通してご使用ください。

繊維状活性炭

塩素を除去します。

ストレーナー

ゴミを取り除きます。



## タカギのものづくり。散水用品・浄水器の製造から浄水システムの研究・開発まで

1961年(昭和36年)、プラスチック中空成型機および精密射出成型金型の製造業でスタートしたタカギは、独自の技術でアイデア製品を創造するメーカーとなり、約200件もの特許を取得しています。創業以来、「人の暮らしに快適と潤いを与え社会の発展に貢献する」を経営理念に、さまざまな挑戦と製品開発を繰り返してきました。

1977年、主力製品を家庭日用品に切り替え、いち早く手がけた散水用品の製造・販売は国内トップのシェア48%へと成長。浄水器事業では、2000年に日本で初めて浄水器をハンドシャワー水栓のグリップに内蔵した「蛇口一体型浄水器(みず工房)」を開発。現在、新築分譲マンション導入率は70%(業界No.1)、2014年にはカートリッジの継続利用顧客数が100万件を超えました。

2008年、初の海外生産拠点としてタカギベトナムを設立。ベトナム北部のハノイ市郊外・フンエン省のタンロンII工業団地内に工場を開設しました。タカギベトナムは従業員の現地採用と教育を積極的に行っており、2014年、15年と連続してベトナム労働組合本部より、外資系を含むベトナム全土の企業7万社超の中から優良企業50社(日系企業は当社を含む4社のみ)に選定されました。ハイフォン市における共同事業においても、ものづくりの研究・技術開発で培ってきたタカギスピリッツで、ベトナムの人々の暮らしと社会への貢献に尽力してまいります。

### [タカギ 会社概要]

会社名	株式会社タカギ	
所在地	〒802-8540 福岡県北九州市小倉南区石田南 2-4-1	
資本金	4億9千8百万円	
創業	1961年5月	
代表者	高城 寿雄	
従業員数	645名(2015年3月現在)	
事業内容	家庭用園芸用品、家庭用浄水器、省エネ商品の開発、製造、販売・プラスチック射出成形加工・金型事業	
認証登録	ISO9001・ISO14001、プライバシーマーク	
関連会社	タカギベトナム	

### [タカギベトナム 会社概要]

名称	Takagi Vietnam Co., Ltd.	
所在地	Plot No. C-1&C-2, Thang Long Industrial Park II, Yen My District, Hung Yen Province, Vietnam (Hanoi area)	
設立	2008年11月 / 2009年12月操業開始	
代表者	高城 幹次郎 (General Director Mikijiro Takagi)	
従業員数	日本人8名、現地採用253名 計261名(2015年12月末現在)	
事業内容	プラスチック部品の成形、散水用品の組立(主に日本へ輸出)、金型部品の加工、金型の製作、メンテナンス、セントラル浄水システムの開発・実証	

### 【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社タカギ 総務部 担当：春高、菅野 Tel：093-962-0941